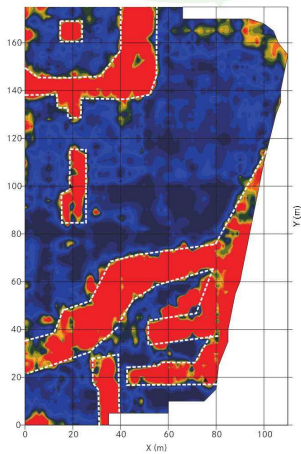


赤色は堀跡に礫などが溜まってレーダーが強く反応している部分



旧野球グラウンド部分の地中レーダー探査結果



旧野球グラウンド部分に現れたクロープマーク

クロープマークとは、地下の状況が地表面の乾湿に影響を与えて、植物の成長に差が生じるものです。地中レーダー探査の結果を見たあと改めてグラウンドを観察したところ、わずかにクロープマークが出ていました。私たちがまだ気が付いていない沼田城の痕跡が、他にもあるかもしれません。



資料の整理作業中に発見

金箔瓦を発見

赤松部分を拡大

わずかに残る金箔



金箔瓦の拡大写真

黒い部分は接着剤として使用されている漆

金箔瓦は当時の豊臣政権が重要な拠点にだけ用いた特別な瓦です。沼田城が関東北部の要所と認識されていたことを示しています

今後の調査

今回の調査は、令和5年度まで行う計画ですが、新発見が続くよう進めていきますので、ご期待ください。

発行 令和4年2月1日
沼田市教育委員会文化財保護課
沼田市下之町888 TEL0278-23-2111

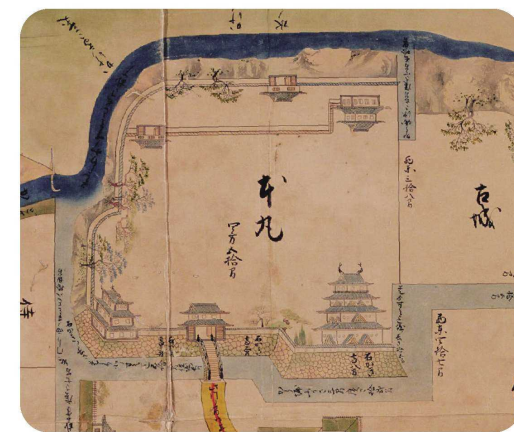


沼田城跡から見た沼田城本丸跡

沼田市教育委員会では、沼田城跡の調査・保存整備事業を行っています。これまでの調査で、沼田城跡は私たちが想像していた以上に江戸時代の姿をよく残していることが分かりました。ここでは、調査成果の一部をご紹介します。

お城とは

「城」という字は、「土」と「成」からなり、「成」は打って盛り上げたものを表します。土を固めて盛り上げて、堀や土塁で囲んだりして、防衛拠点や攻撃拠点としたところを城と呼びます。必ずしも天守や櫓などの施設を指すものではありません。また、城の外側には城下町が形成されることもあり、城に勤める侍の他、多くの商人や職人も住んでいました。



正保城絵図 上野国沼田城絵図 国立公文書館蔵 (本丸部分のアップ)

調査成果の概要

沼田城跡の調査は、沼田公園長期整備構想に伴い、平成5年から3期に渡って実施してきました。現在の調査・保存整備事業では、真田氏が治めていた江戸時代初め頃（17世紀初頭）の沼田城の構造や歴史を明らかにして史跡の上位指定を目指して、3年前から発掘・測量調査、地中レーダー探査などを行っています。調査を通じて分かったことは大きく分けると次の2点があります。

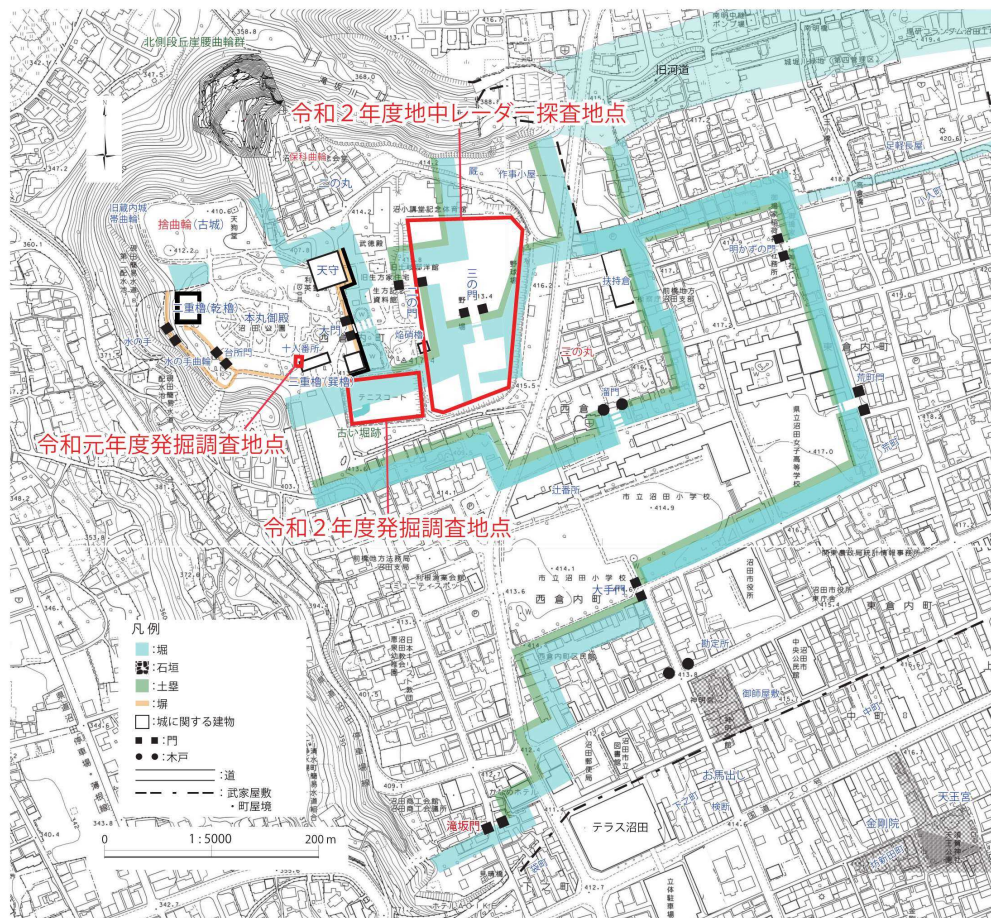
- 1 現在の公園の地下には沼田城の遺構が思いのほかよい状態で残っていること
- 2 天和2（1682）年正月の破城の状況がよく保存されていること

このほか、これまで想像していなかった発見が相次いでいます。

ちょうど340年前の出来事だよ。歴史を感じるわ。



沼田市公式キャラクター めまたんち



現在の市街地と沼田城跡

今期事業の調査内容

平成30年度

- 調査したこと
 - ① 江戸時代の絵図面や文書などの調査
 - ② 平成27、28年度の発掘調査で発見したものの整理
 - ③ 地中レーダー探査（沼田公園下公園、沼田小学校校庭など）

令和元年度

- 調査したこと
 - ① 本丸内の発掘調査（利根英霊殿の南側に延びる通路の一部）
 - ② 地中レーダー探査（旧テニスコート、沼田女子高校周辺）

● 分かったこと

- ① 江戸時代初めの地表面が、約60㌢下にあること
- ② 番所（警備などをする人の控え場所）の建物の痕跡や、屋根に葺かれていた瓦の破片を確認

令和2年度

● 調査したこと

- ① 旧テニスコート内の発掘調査
- ② 旧野球グラウンドの地中レーダー探査

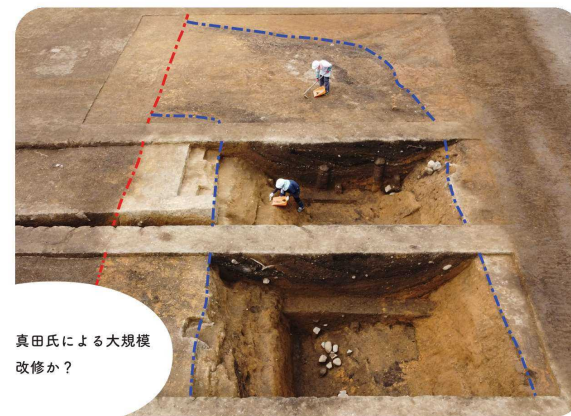
● 発掘調査で分かったこと

- ① 旧テニスコートの北西部分から、城が壊されたとき〔天和2（1682）年〕の多量の瓦を発見。三重櫓の瓦か
 - ② 本丸を囲む南側堀跡の規模を確認。堀の幅は28.1㌢以上、深さは5.6㌢以上
 - ③ 正保城絵図に描かれた堀より古い堀跡を発見。真田氏が整備した初期の堀跡か
- 地中レーダー探査で分かったこと
 - ① 幅約12㌢から22㌢、深さ約4.5㌢から5㌢の溝状の構造を複数箇所を確認
 - ② レーダー探査の結果と絵図とを照らし合わせ、一致する堀跡らしきものを確認



原形に近い瓦がたくさん重なるように出土しました。

令和2年度の発掘調査で出土した沼田城の瓦



真田氏による大規模改修か？

令和2年度の発掘調査で見つかった古い堀跡（馬出の一部）

--- 本丸堀 --- 古い堀

本丸堀の幅は25㌢ブルーより大きく、深さは2階建て建物の天井まですっぽり収まるほどの深さじゃ。



小松 信之・小松プロジェクト